

トラブルマネージャー日記



Spanish squad in Germany 2006



6.JUNE >>> Diary of Travel manager

6. JUNE >>> Diary of Travel manager

最終合宿が無事終了し、いよいよワールドカップが行われるドイツへ出発だ。今大会はヨーロッパで開催されるということもあり、大きな移動や気候の変化など、環境的には違和感がないものの、私たちはワールドカップという独特の雰囲気や選手にとっても時差が存在しない

とは非常にありがたい。それだけにチームとしても十分な準備をすることができた。アラゴネス監督は合宿をマドリードで行い、親善試合の会場をアリカテにするなど、リーグのようなスケジュールを設定した。そして、その延長線上にワールドカップを見据え、ドイツ入りを最後の最後まで伸ばすという予定を立てていた。きっと監督は選手達にワールドカップという重い圧力を掛けたくなかったのだ。スペイン代表は経験が少ない若手選手が多い、彼らが

持っている力を十分に発揮させるには余計なプレッシャーを掛けず、あくまでも本大会で最大限の力を出させるという目的があるからだ。大会に入ると私1人では処理しきれない問題が生じることがある。そこで、旅行代理店から私をサポートしてくれる2人が来てくれた。非常にありがたい助っ人だ。

スペイン代表チームのトラブルマネージャー、アントニオ・リモネス氏がドイツワールドカップ大会直前の6月6日から29日のチーム解散までに綴った貴重な日記を公開。そこには代表チームの一員だからと体験できたリアルなワールドカップが書き記されている。常にチームと行動を共にするトラブルマネージャーという仕事だからとを覚悟するチームの様子、監督と選手の間接などテレビの画面には決して映らない代表チームの旅をお伝えする。

替人！ スペイン代表 ドイツワールドカップの旅



7. JUNE >>> Diary of Travel manager

スイスのジュネーブで、同じくワールドカップに出場するクロアチアと親善試合を行った。この試合は本大会に向けての最後のテストマッチとなる。アラゴネス監督にとっても選手の動きをチェックする最後のチャンスだ。

実はこの試合、ベルニアが代表戦初出場を果たした。彼は先日まで最終選考合宿に参加していた。誰もが本大会に参加すると思っていたが、アラゴネス監督は招集をしなかったのだ。

私の考えが監督とは異なるのは当然のことだが、マスコミもベルニアの代表漏れには驚きを示していた。彼はワールドカップに参加すべき選手だと私は思っていた。マスコミの連中の話によると、彼の父も不運によりワールドカップの出場機会を失ったそうだ。

彼の父はアルゼンチン代表としてワールドカップに出場することがほぼ決定していたらしい。しかし、最終的に当時の代表チームの監督であったメノッティ氏はボカ・ジュニオールズの選手を招集しないことを決定したそうだ。

ベルニアは父親と同じ歴史が繰り返されたと思っていた。ところが5月24日にデル・オルノが怪我をしてしまい、ワールドカップまでに完治しないことが発表された。そこでアラゴネス監督はベルニアを招集したのだ。

この可能性があることを、私は予想していた。だからベルニアをすぐにチームに合流させることができた。

また、この日の彼はデビューすると同時に、代表戦初ゴールも決めた。フリーキックから、相手の壁に当たりはしたが、見事なゴールだった。

ディフェンダーというポジションでありながらも、フリーキックやロングシュートが得意という持ち味を、アラゴネス監督に存分にアピールしていた。

デル・オルノには悪い気がするが、努力家のベルニアが代表に戻ってきてくれたことを、非常に嬉しく思う。

8. JUNE >>> Diary of Travel manager

FIFA は大会開幕戦であるドイツ対コスタリカ戦の一日前までに、ドイツ国内へ入ることを規定している。

スペインはそのギリギリであるこの日にジュネーブを発ち、ドルトムントへ到着した。そこから30kmくらい移動をし、今大会の合宿地カームンに着いた。

飛行機のチャーター便などは、これまで私たちスペインサッカー協会が手配してきたが、ドルトムントへの到着を最後に FIFA が全てを手配するシステムとなっている。同時に FIFA は開催国と参加国との関係を円滑に行えるよう人材を派遣してきた。

巧みなスペイン語を操ることができる彼らに、私たちが望んでいることを FIFA に伝えしてもらい、できるだけのことをしてもらおう。これで試合会場までの飛行機、バスの手配はすべて彼らの管轄になる。

もちろん、最終チェックはチームのトラブルマネージャーである私がすることになるので、なかなか気を抜くことはできないのだが……。

8.JUNE >>> Diary of Travel manager

●アントニオ・リモネス
Text by Antonio Limones
●高橋正光
Photo by Adamant Llorca
●カルメロ・ロルビオ
Photo by Carmelo Rubio

7.JUNE >>> Diary of Travel manager